

ほのおのちからで つくっちゃおう!

IN 生田川の川原

活動日時： 9月10日(土)

活動プログラム：

午前	集合・あいさつ	おはよう。今月は工作に挑戦です！今回の工作は“炎”の力を使って、『焼き板』を作るよ。どんな作品が出来上がるか楽しみだね！
	かまど準備	まずはかまどに使う石を集めるよ。みんなで手分けして拾ったら、たくさんの石が集まったね。バランスを考えながら積んでいこう。
	焼く	火おこしに挑戦だ！炎の近くは熱くて煙たいけど、素敵な作品の為に頑張ろう！火が点いたら、火ばさみを使って自分の板を焼くよ。真黒焦げにならないように気をつけてね。
午後	昼食	焼いた板を冷ましている間にお弁当を食べよう！早く工作の続きがやりたいから、いつもよりテキパキ食べて片付けることが出来たね。
	磨く	午後からはブラシですすを落とし、軍手と新聞で磨いていくよ。上手く磨けるかな？何度も磨くと、真っ黒だった板が茶色に変わったね。なんだか不思議だね！
	ペイント	黒いすすが手に付かなくなったらポスカで絵や模様を描いていこう！ポスカはインクがたくさん出やすいから気をつけてね。
	まったね～	最後に金具を取り付けると完成だよ！素敵なキーホルダーが完成したね。どこに付けるか考えるだけでウキウキするね！来月は、街中を探検するよ。まったねえ～！！



<全体感想>

今月はこれまでの工作より工程が多い『焼き板』に挑戦しました。『焼き板』は、キャンプなどでは定番の工作で絵を描く事がメインというイメージもありますが、火の力や木の変化を楽しむことが出来るプログラムでもあると思います。そこで今回は“焼く”工程から始め、木の色や形を変化させる事を楽しみました。炎にかざす時間を変えてみたり、板の半分だけに焦げ目をつけてみたり、色々と考え試す姿が見られました。それぞれに苦戦するところは違いましたが、金具を取り付け、キーホルダーが完成した瞬間の反応は皆同じでパッと笑顔になり、とても嬉しそうでした。工作は、イメージが“作品”として形になります。だからこその他の活動よりもできた瞬間が分かりやすいと感じます。これからもこの「できた！」と感じる瞬間を工作以外の活動でも感じられるよう、工夫していきたいです。

(生本 ひろみ)